Interview ▸▸▸ 川嶌（かわしま） 眞人（まひと）理事長

理事長
川嶌 眞人先生

特定医療法人玄真堂 川嶌整形外科病院（大分県中津市）

理事長の川嶌眞人先生（写真）は，1969年に東京医科歯科大学医学部を卒業後，虎の門病院整形外科専修医，九州労災病院整形外科副部長などを経て，1981年に尊敬する福沢諭吉ゆかりの地でもある故郷の大分県中津市に開院された。その後も30年にわたり「水滴は岩をも穿つ」のごとく高度な専門医療の追究，病院の改革に努めるとともに，人財育成・研修活動，国内外における学会活動ならびに医学史関連をはじめとする執筆活動などに精力的に取り組まれている川嶌理事長に，これまでの取り組みと展望についてお話を伺った。

高度な医療技術の世界的発展に向けて

当院における治療の特色の1つでもある『高気圧酸素治療』は，開院以来延べ30万例近くに実施されてきました。現在，6～8名収容できる大型高気圧酸素治療装置（写真1）を3基（入院患者専用2基，外来患者専用1基）設置しており，骨髄炎，脊柱管狭窄症をはじめとする整形外科疾患のほか，脳梗塞および減圧症などの治療やスポーツ選手の疲労回復に用いています。高気圧酸素治療を始めるに至ったきっかけは，九州労災病院在籍時に取り組んでいた減圧性骨壊死の研究でした。この研究が，1975年に日本ではじめて減圧性骨壊死の労災認定取得へと導き，その後も国内外の共同研究により構築したエビデンスを数々の国際学会で発表し，高気圧酸素治療の適応を拡大してきました。2002年には国際潜水高気圧環境医学会より栄誉あるチャールズ・シリング賞をいただき，世界的に高気圧酸素治療へ高い関心が寄せられています。現在も東京医科歯科大学と共同で最先端の骨髄炎治療法である「オゾンナノバブル洗浄」に関する研究を行っており，国際学会での発表を通じてその有効性を海外へ発信中です。

また，私が考案した「川嶌式局所持続洗浄チューブ」による局所持続洗浄療法（写真2）は，骨髄炎に対する標準的治療法として日米で浸透し，最近では骨髄炎患者の多い中国において，この治療法を専門とする病院が北京に設立されるまでに至っています。

ローカルかつグローバルな社会貢献・人財育成が導く医療水準の向上

当院には九州を中心として全国から患者さんが来院されますが，救急病院として地域の救急医療にも貢献しており，2009年には脳神経外科を新設しました。1日あたりの来院患者数は，併設している外来診療中心の「かわしまクリニック」と合わせて400～500名で，高齢化に伴い圧迫骨折などの患者さんが増えています。年間の総手術件数は約1,400件で，クリニカルパスおよび地域連携の推進によって平均在院日数を約12日まで短縮しました。また，利用形態（入院・外来・通所）に応じた3つのリハビリテーションセンター（写真3）では，総勢40名以上のスタッフがマンツーマン指導で患者さんを支援するほか，地域連携の一環として近隣の施設へ転倒予防，介護予防などの指導に交代で出向きます。このほか関連施設として訪問看護ステーション，介護老人保健施設などを隣接して急性期医療から慢性期ケアまでをサポートし，大分県北部における整形外科医療の核として社会貢献に努めています。診療以外でも市のイベントへの積極的な参加，ボランティア活動および地球環境保護活動を盛んに行いながら，市民とともに歩む病院をスタッフ一同志しています。

さらに，人財育成にも力を入れており，国内・国際学会での発表ならびに海外研修を毎年行い，研修会・カンファレンスを頻回に開催し，病院全体の学術的な活動を推進してエビデンスのある医療を展開してきました。また，国内以外にも中国からの研修生を受け入れたり，国際的な学会・セミナーを主催したりと，全世界の医療水準向上を目指して人財育成に励んでいます。

絶えざる改善・改革で，おもしろき新しい時代をひらく

当院では，感染症以外にも人工関節，膝関節，手外科など各分野の専門医が，高齢患者にも適するさまざまな手技を取り入れています。たとえば，手外科においては，古江幸博先生を中心に橈骨遠位端骨折患者に対する掌側ロッキングプレートによる観血的骨接合術（写真4）や，細かい手技を必要とする三角線維軟骨複合体（triangular fibrocartilage complex；TFCC）損傷に対する関節鏡手術などを行っています。これらは高齢の患者さんにも積極的に行っており，短期間での回復とADLの維持・向上に貢献しています。また，リハビリテーションにおいてもスリングセラピー（写真3）を導入するなど，患者さんに最善最適な医療を実践するために尽力しています。さらに，当院専属の義肢装具製作部を設置して個々の患者さんに即した義肢を短期間で提供する，敷地内に職員向けの託児所を設けて仕事に専念してもらうなど，医療の質を高めるための環境づくりも行っています。

開院から30周年を迎えた今，2013年竣工予定で併設クリニックを含む病院全体の増改築を行っています。変えてはいけないものは変えずに，常に新しい流れを取り入れながら心機一転，患者さんにより満足いただける病院へと成長してまいります。日々の診療・研究に勤しむ傍ら，中津の医学史を研究したり，前野良沢が嗜んだ「一節截（ひとよぎり）」という伝統楽器を奏でたり，ボランティア活動を行うなど，病院スタッフおよび地域住民と交流しながら，地域の医療ニーズに応え，この『蘭学の里』で世界水準の臨床と研究を実践し続けることができるよう，これからも努めていきたいと考えています。

特定医療法人玄真堂 川嶌整形外科病院

「川嶌整形外科病院」が位置する大分県中津市は，福沢諭吉や前野良沢など多くの蘭学者・医師を輩出した地であり，偉人らの精神を受け継ぐ高度な医療が川嶌理事長のもとで展開されている。整形外科専門病院として世界水準の医療を提供するとともに，救急・介護部門にも注力し，300名以上のスタッフが一丸となり地域へ貢献している。

〒871-0012 大分県中津市宮夫14-1
TEL：0979-24-0464
http://www.coara.or.jp/~gensin

写真1 高気圧酸素治療装置は午前・午後各2回のスケジュールで毎日稼働

写真2 川嶌式局所持続洗浄チューブを用いた処置により，骨髄炎再発率は5%台まで低下

写真3 利用形態に応じたリハビリテーションセンター（左）とスリングセラピー（右）

写真4 掌側ロッキングプレートによる観血的骨接合術

古江先生